



あんぜん便り

〈発行所〉公益社団法人 郡山市シルバー人材センター
安全・適正就業委員会

第30号

平成28年4月1日発行

「あんぜん便り」 発行について

安全・適正就業委員会

委員長 橋本 真紀

このたび安全・適正就業委員会では「あんぜん便り」を再度、発行することになりました。

会員が健康で安全・適正に就業できるために役に立ちたいと考えます。

体力は年々減少するのは必然ですが「心」の豊かさを養うことでその肉体を支えてくれます。

皆さんの体験した「ヒヤリ」「ハット」を発表していただいたり、発注者の方々から生の声を頂きお互いの前進のために役立てたらと思います。

宜しくお願い致します。

事故発生件数

(H27年4月～H28年2月)

8件(就業中7件、途上1件)

うち重篤事故(骨折3件)

安全標語

気をぬくな

事故に場所なし

予告なし

(福島県シルバー
人材センター連合会)

見逃すな

ヒヤリで済んだ
あの経験

(全国シルバー
人材センター事業協会)

事故発生を省みて

① M・T

平成26年11月、就業中の事です。
電気サンダーで自分の親指を刺し、
10日間の通院治療でした。

2週間後に仕事に復帰しました。考
えるに与えられたノルマを達成しなければとあせり、気持ちに余裕を無くしたことが怪我の原因でした。

② 匿名

平成27年8月。屋内での就業中すだれを取ろうとして脚立に足をかけようとした時、足が滑つて脚立から転落しコンクリートの階段に腰をぶつけ骨折、脚立の下敷きになり前歯2本が折れた。

原因は脚立に足をかける時、脚立の位置をよく確認せずに足をかけたのが悪かったと思います。自分の注意不足。仕事に対する慣れかと思いまして反省しています。



ヒヤリ・ハットの体験

(就業途上) 男性 69歳

一方通行道路を横断しようとした時、右方から車が速度をあげて直進してきた為であやうく側面衝突しそうになつた。



(その時の状態)

とつさに急ブレーキとハンドルを左に切り、事なきを得た。

(問題点)

相手車は一時停止の標識があるも停止しなかつた。

(この体験での反省・注意・改善)

一時停止の標識、停止線がなくとも、交差点では必ず一時停止して、徐行するように心がける。

発注者の方からの声

(敬称略)

北星産業株式会社

業務課主任 熊田 雄亮

会社創業時の21年前からシルバー人材センターのお世話になつ

ております。現在5名就業中。交替勤務で男性3名は福島県と栃木県内のコメリグループ店への納品時現場清掃、女性2名はセンター内清掃業務です。

これまででも問題なく従事、元気に仕事してもらっています。朝礼時など利用して、健康面には特に留意させ、負担をかけない様にと皆さんに気を配っています。

とつさに急ブレーキとハンドルを左に切り、事なきを得た。



シルバーファンの声

(S・S)

シルバーの通院介助の仕事中に、一人の方から「どちらから来られたの?」と声をかけられました。「シルバー人材センターからです」「あら! 私ね、ずっとシリバーさんにお世話になつてたのよ!」にこにこと、その方は続けます。「最近老人施設に入所したんだけどね、それまでずっと庭の植木お願いしてたのよ。私の家を

買った人にも『シルバーに頼んだらいいわよ』と言って来ましたよ。私が一人で歩けなくなつたら、あなたに頼むわ!」

安全適正就業委員は、

運転手62名) や、運行日報管理の仕事を担つてもらっています。長距離運行の監査が厳しい業界であ

ることは周知のとおりで、細心の注視が必要です。センターとは20年来のお付き合いですが、いつも

タイムリーな対応をいただいております。

委員会からのお願い

会員の皆さんから安全に関する標語を募集します。自分の経験から考えた独自の作品をお待ちしています。応募された中から審査のうえ紙面などに使わせていただきます。

事務局からのお願い

就業途上及び作業中の事故については、必ず事務局へ報告をしてください。